

すべての子どもの笑顔のために

教育



特別支援教育って何？

特別支援教育の目的は、障害のある子どもが将来社会に参加し自立した生活をするために必要な力を培うこと。生活や学習上の教育的ニーズを把握し、それを改善・克服するために適切な指導と必要な支援を行います。

特別支援学校や小・中学校の特別支援学級、通

級指導教室など特別な教育の場だけでなく、通常の学級でも、子どもの教育的ニーズに応じて指導や支援を行っています。

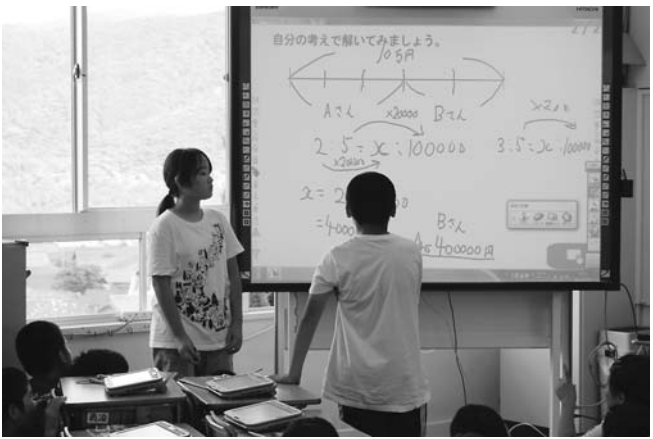
特別支援教育を推進することで、障害のあるなしにかかわらずすべての人が、もっている個性や能力を発揮しつつ、自立して社会に参加し支えあう「共生社会」の形成の基礎をつくっています。

通常の学級での特別支援教育

小・中学校の通常の学級では、子ども一人一人の実態や状況に応じて、指導内容や方法を工夫して学習活動を行っています。たとえば、

- ▽子どもが集中しやすい教室環境を整備
- ▽子どもに分かりやすいよう、短くて具体的な指示や出題方法を工夫
- ▽1学級を2人の先生で指導
- ▽1学級を少人数に分け、それぞれに先生がついて指導

電子黒板等を使った学習も、視覚からの情報収集が得意な子どもには効果的です。これも特別支援教育の一つといえます。



- ◆次回予定 通級による指導（通級指導教室）
- ◆問合せ 学校教育課 ☎72・7801